

事業所名		福岡療育支援センターいちばん新宮 放課後等デイサービス いちばんhappiness					
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	25.0%	75.0%	・定期的レイアウトを見直し、出来るだけ広く使える様に工夫している	・グループの部屋を分けず各部屋の配置の工夫しているが改善は必要 ・今、物置の整理を頑張ってもらっている状況。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	81.3%	18.8%	・療育前にケアや療育がスムーズに行えるように工夫している	・医療ケアが必要な子どもが多いときはもう少し職員がいると余裕をもって対応できる	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	31.3%	68.8%	・玄関や廊下の出入口など、バリアフリー環境は比較的整っている	・トイレのバリアフリー化をした設備が必要だと感じる	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	68.8%	31.3%	・毎日の片付け、掃除で清潔を保っている ・活動に合わせて空間作りをしている	・片付けのスペースが必要と感じる	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	75.0%	25.0%	・パーテーションで空間を区切る工夫をしている ・必要に応じて声を掛けあい部屋割りが出来ている	・大部屋が多く、個室が少ない	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	68.8%	31.3%	・チーム会議で行なっている ・業務改善は部署会議などを通して行っている	・PDCAサイクルを回す取り組みをしているが、アクションに繋がらない事がある	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	93.8%	6.3%	・保護者の意見を把握し会議で検討、改善点は話し合いを行っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	87.5%	12.5%	・会議で情報共有に努めている ・意見は、出しやすい雰囲気がある	・意見のすり合わせや話し合いはできているが行動に繋がらないこともある	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	56.3%	43.8%			
適切な支援の提供	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	・職員間でスキルアップ研修を実施 ・研修でグループワークを取り入れている ・社内研修のほか、外部での研修案内がある		
	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	93.8%	6.3%			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	・チーム会議で話し合い、それぞれの児に応じた支援計画の作成をしている	・担当の児以外の把握が難しい	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	87.5%	12.5%	・会議で情報共有に努めている ・会議や日々のミーティングで共有している	・会議や日々のミーティングで共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	68.8%	31.3%	・アセスメントシートを用いて、共有している	・訓練がアセスメントで終わらないよう注意が必要	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	・プログラムの基本は不変的な事が多く、積み重ねが重要。それを踏まえたまま変化させている ・子どもたちの様子に合わせて日々工夫している ・子どもたちの様子に合わせて工夫している		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%			
関係機関や保護者との連携	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	93.8%	6.3%	・ミーティングで行っている	・話し合いが不十分で、それぞれの児に対するねらいや全体のねらいを全員が把握できていないことがある	
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	87.5%	12.5%	・ミーティングなどで情報共有している	・十分な時間は確保できていない	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	93.8%	6.3%			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%	・子どもたちの表情や動き、発声など小さな発信を見逃さずキャッチできるようにしている ・子ども達の能力をチームで評価・確認して自己表出出来る機会を作っている		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	100.0%	0.0%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	87.5%	12.5%	・保育所等訪問や手術入院に伴う情報提供の機会を設けている	・相互理解は足りていないと感じる	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100.0%	0.0%			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75.0%	25.0%			
保護者への説明等	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	87.5%	12.5%	・サポートブックの作成をしている		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	68.8%	31.3%	・地域の研修会へ参加する機会がある		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	31.3%	68.8%	・季節行事で地域の保育園児との関わりあり		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	87.5%	12.5%	・事業所としての参加がある		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	93.8%	6.3%		・行っているが不十分ではある	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75.0%	25.0%			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%			
非常時の対応	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	81.3%	18.8%	・イベントを実施し保護者交流の場をつくらせている ・親子療育の機会を作り、茶話会などで交流できる機会を作っている		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	93.8%	6.3%	・迅速に動いている ・チーム内での共有、対策を行い、事業所としても共有している		
	42	定期的な連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	・一人一人が意識して個人情報の管理を行うことが出来ている		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	43.8%	56.3%	・イベントへの参加が少しずつ出来ている		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	・子ども達も一緒に訓練に参加する機会を作っている		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	100.0%	0.0%	・職員から直接話をする機会も作っている		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	100.0%	0.0%	・アレルギー情報をチーム・事業所内で共有出来ている		
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	81.3%	18.8%	・研修を毎年受ける中で、考え直す機会を設けている	・実際に起きたときにどう対応するのか、あまり想像ができていない		
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	87.5%	12.5%				
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%				
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%	0.0%				